

第52回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成 29 年 8 月 18 日（金）19:00 ~ 20:50

場 所：福岡国際会議場 国際会議室 501

〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1 ※次頁の地図をご覧下さい

参加費：1,000 円 募集定員：200 名 Field^{*}：B（排便管理）

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険他）詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

テーマ：高齢者の生活を考えた排便ケアと栄養学

開会の挨拶：山口 秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：荒木 靖三 先生（大腸肛門病センター くるめ病院 院長）

講演：『生活の質の改善に向けた排便コントロール ～栄養士の視点からの取り組み～』

講師：上村 朋子 先生（下関市立豊田中央病院 栄養管理科 主査）

～ 講師からのコメント～ 私たち栄養士は、「食」を通じて患者さんの治療とケアに携わっています。特に高齢者においては、口腔機能の衰えによる食事内容の変化と併せて、消化管機能の低下などから、排便に関する問題を生じることが多くなってきます。

高齢者の排便の問題に対し、栄養学の観点からアセスメントを行い、腸内環境の改善に向けたアプローチを行うことで、排便の問題に改善がみられただけではなく、患者さんの原疾患の治療にもつながる様々な効果も得られました。

臨床栄養の現場から、生活の質の改善にもつながる排便コントロールについて報告します。

講演：『高齢者の暮らしに寄り添う排便ケアの提案 ～できるだけ薬剤に頼らないチームケアへ～』

講師：種子田 美穂子 先生（NPO 法人日本コンチネンス協会 九州支部
副支部長 コンチネンスアドバイザー）

～ 講師からのコメント～ セルフケア能力が低下し始める高齢者の排便ケアにおいては、生活・身体機能の低下を必要最小限にし、本人の持っている健康上の強みをさらに生かすケア実践により、健康寿命の延伸、介護度増悪の回避、介護負担の軽減につながっていきます。

そのためには、私たち専門職が、根拠に基づくチームケアを行い、「薬剤でどうやって便を出すのか、止めるのか」だけでなく、その方の力を最大限に活用し、「その人の営み（生活）に応じた気持ち良い排便ケアを行う」ことが必要です。明日からチームで実践されてみませんか？

閉会の挨拶：今丸 満美 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、太陽化学株式会社
後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休）

〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL : 092-282-5910 FAX : 092-282-5812

メールアドレス : info@fukuokahaisetsu-net.org

交通のごあんない Access & Area Map



車・バス・地下鉄利用

By Car, Bus or Subway



A 博多駅周辺MAP

Hakata Station Area Map



A 天神駅周辺MAP

Tenjin Area Map



福岡国際会議場周辺MAP

